

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 H30. 4. 16
発行ナンバー 586号
(田中主将の代・・・87号)

試合結果 (春季南部地区大会) 代表決定戦

4月14日 (土) ~市営浦和球場~

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
和 光	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
市立浦和	1	0	0	0	1	0	1	2	×	5

苦しい時間を長く過ごす試合になりました・・・

その原因は自分達にありました・・・

初回、先頭打者の内野安打を送りバントで進め、3番打者のタイムリー2塁打で幸先良く先制、誰もが4番打者でもう一押し・・・と思ったところ、その際のベースランニングでの1塁ベース空過(踏み忘れ)を和光高校が指摘、そのアピールが通り、走者はアウト・・・攻撃の流れを完全に止められてしまいました。(それを見ていた和光高校の1塁手は立派)

そして2回・市高の守り、ランナーは3塁に行きましたがすでに2アウト、下位打線になっていたこともあり、高い確率で(点を取られず)チェンジになるのでは・・・と(私だけでなく)多分球場全体が感じていた状況で、投手がセットに入る直前にボールを落とすボーク・・・和光高校に1点を差し上げる展開に・・・普段、相手に流れがいつてしまうプレーを部員に伝えていますが、公式戦でこのようなこと(ベースの空過や失点につながるボーク)が起きるとは・・・(やるべきことをやらなかったため)市高野球部は完全に野球の神様に見放されました。2回、3回と満塁のチャンスをつくったものの(ライナーが野手の正面をつくなど)無得点・・・あせればあせるほど空回りする悪循環に・・・

今シーズン、(練習試合で)同じ様な試合展開を多く経験していたのが良かったでしょうか・・・ギリギリ踏みとどまることができました。野球というのは本当に(人生と同じで)何をやっても上手くいく時間がある分、その逆もよくある・・・大事なのは上手くいかない時の被害を最小限にできるか・・・(反撃する状態でなくなってしまうこともよくあるので・・・)

これで秋に続き春も県大会に進むことができました。色々な事が上手くいった大宮高校戦、上手くいかなかった和光高校戦、様々な経験を通じて市高野球部は少しずつ強くなっていくんだと思います。(そうなって欲しいという私の願望です) 応援ありがとうございました。

今後の予定

4月20日(金)に県大会の抽選会が行われます。

(秋季県大会のベスト8校と各地区大会を突破した37校、計45校による大会)大会は23日(月)から行われ、ベスト16進出校が(今夏、北埼玉・南埼玉大会の)シード権を獲得、決勝進出校が千葉県で行われる関東大会へ進出します。市高の目標は秋同様、県大会での1勝です。応援よろしくお願い致します。